

とちぎ米産地だより 【11月号】

<25年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第20号 平成25年11月8日(金)
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

1. とちぎ米生長日記

栃木県25年産の作況指数は**102**です。(10月15日時点)
～ 予想収量 **549kg/10a** の見込み ～



◎ 10月6日稲刈り風景 ◎

●25年産 作柄状況●

★5月上旬の低温と6月中・下旬の日照不足によって**莖数が少なくなった**ため、最終の穂数が少なくなりました。しかし7月上旬からの高温で回復し、1穂粒数が多くなったため、**総粒数はやや多め**となりました。出穂してからの天候は概ね良かったため登熟は平年並～やや良となりました。その結果、収量は**作況指数102のやや良**となりました。

★品質は、県全体の1等米比率が**88%**(11月5日現在)と概ね良好でしたが、一部に胴割粒、また県南部の一部で乳白色を含む白未熟が発生しました。

☆10/28 現在、県内の刈取りは **ほぼ 100%** 終了しています。

2. 栃木県のイベント情報

美炎・馬頭琴の調べ

～馬頭の棚田を吹きぬける心地よい風にのせて～



秋晴れが気持ちいい10月13日(土)に、栃木県那須郡那珂川町小口の棚田にて馬頭琴の演奏会『美炎・馬頭琴の調べ』が開催されました。この地区は『馬頭町』という名であったことから、3年前より馬頭琴演奏者の『美炎(みほ)』さんをお呼びして石舞台をステージに、客席は収穫後田んぼと棚田の畔(あぜ)を利用して開かれています。

ぐると山に囲まれたステージは、美炎さんも驚くほど馬頭琴の音色をのびやかにし、風に揺れる木々達と綺麗なハーモニーを奏でます。

会場にお借りした棚田は、山の中にある13枚の田んぼです。上流に人家がないため綺麗な沢水に恵まれ、多くの希少な生き物が暮らしています、大型の農業機械を入れることはできませんが、先代から受け継がれた田んぼを大切に米作りをしています。

馬頭琴(ばとうきん)とは・・・?

モンゴルの民族楽器で、馬の頭の彫り物がついていることからその名が付けました。草原のチェロとも言われます。弦は2本で、実際にはそれぞれ100本ほどの細い弦を束ねてできています。現在はナイロン弦ですが、元々は馬の尻尾を使用していたようです。



3. 全農イベント情報

●エコープ関東 家族で稲刈りバスツアー 10/5(土)

7月～8月末に、(株)エコープ関東にて実施された「栃木県産コシヒカリ 家族で稲刈りバスツアー」キャンペーンに当選された**11組 35名**のお客様を、栃木県に招待しました。

今回のツアーは、稲刈り体験を通して生産者と消費者の交流を深めつつ、とちぎ和牛のバーベキューを始め栃木県産品をふんだんに使ったお昼と温泉を満喫しました。より一層“産地ととちぎ”に興味をもって頂き、購入意識を高めることを目的としています。



当日は朝方の雨で少し肌寒かったのですが、参加者のみなさんは皆さん一心不乱に稲を鎌を動かし、一面全部刈り取る勢いでした！！

『とちぎの良さを改めて知ることができた』『とてもいい思い出になった』と嬉しいお言葉をたくさん頂きました。

●プレミアムとちぎ米くらぶ会員限定稲刈りツアー 10/6(日)

5月のプレミアムとちぎ米くらぶ会員様限定の『家族で体験！田植えツアー』に引き続き、今回『家族で体験！稲刈りツアー』を開催し、県内・県外合わせて**12組 43名**の会員が参加しました。5月に自ら田植えを行ったJAしおのや・喜連川の田んぼを借りての稲刈りを実施し、春と秋の一貫したお米作りを体験しました。

会員と生産者・JAを交えた産地交流会は初めての開催で、会員の方に、産地との交流と栃木の自然を体感してもらい、とちぎ米ファンの固定化を図ることを目的としています。



今回の稲刈り体験では、鎌で刈った稲を藁で縛ってまとめる工程まで行いました。『わたしが植えたのはこの辺り！！』と自分で植えた稲の生長に感動しながら、一生懸命行いました。刈り残った稲は、生産者の笹沼さんの大きなコンバインによって刈りましたが、参加者の皆さんはあまりの速さに驚いていました。

4. 全農イベント情報

入賞は16作品！

まるごと “とちむすび” コンテスト 募集結果 発表！！

★総応募数★

355点

☆受験に勝つ・夜食に食べたい“おにぎり”部門 …91点

☆部活パワー全開 ガッツリ系“おにぎり”部門 …141点

☆女子組ヘルシー系“おにぎり”部門 …123点

小学生から大学生・専門学生まで多くの学生の皆様にご応募頂きました。

11月9日(土)の2次審査による試食審査をもって、最優秀賞を決定致します。乞う、ご期待！



※ 問合せ先 ※

◆内容に関するご意見、ご質問、ご感想も、是非お寄せください。

JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037